

# 令和5年度 富士見市下水道事業会計予算（概要）

## 1 予算概要

### (1) 予算編成概要

下水道事業においては、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛の解除等により、生活用水量が減少するものと考え、主たる収益である使用料収入の減収を見込んでいる。また、人口増加の鈍化や生活様式の多様化により、長期的にも使用料収入の減少が懸念される。さらに、今後増大する老朽化施設の更新や激甚化・頻発化する災害への対応に多額の費用が必要となることを見込まれる。

令和5年度の公共下水道汚水事業については、計画的な修繕・改築等を行うストックマネジメント計画に基づき、管渠更正及びポンプやゲート施設の更新工事を実施するとともに、南畑地区について生活環境の向上や水質保全を目的に管渠整備を図るほか、下水道施設の地震対策の調査や老朽化対策の管渠修繕設計の業務委託を実施する。

次に、公共下水道雨水事業については、別所雨水ポンプ場の更新工事委託や新たな内水対策の強化としての浸水対策などの業務委託を実施する。

今後も安全・安心の確保と快適な生活環境・水環境の向上、下水道事業の持続に資するため、施設の計画的な整備と維持管理に努め、経費の削減はもとより、健全で効率的な経営を推進するための予算を編成した。

### (2) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は前年度比0.3%増の18億2,736万円、支出は前年度比1.5%減の16億8,033万6千円で、収支差引で1億4,702万4千円の黒字を見込んでいる。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は前年度比54.8%増の10億3,199万3千円、支出は前年度比25.5%増の17億224万9千円となり、収支差引では6億7,025万6千円の赤字が見込まれる。

### (3) 財源不足額

第4条予算の赤字分については、損益勘定留保資金等で補填する。

## 2 予算（収入）の主な特徴

### (1) 3条予算（収益的収入）

#### ○ 営業収益

下水道使用料は、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛などの解除により、生活用水量が減少する見込みから、前年度比3.9%減の10億2,284万4千円とした。

他会計負担金は、主に一般会計からの繰入金として、前年度比6.0%増の3億2,048万7千円とした。

その他の営業収益は、13万5千円とした。

○ 営業外収益

受取利息は、6万2千円

他会計補助金は、9,700万円

長期前受金戻入は、3億6,150万5千円

雑収益は、179万6千円

消費税還付金は、2,353万円とした。

○ 特別利益

過年度損益修正益は、1千円とした。

(2) 4条予算（資本的収入）

企業債は、前年度比55.2%増の8億8,160万円

国庫（県）補助金は、前年度比89.9%増の1億1,725万円

負担金は、受益者負担金及び他会計負担金として一般会計からの負担金等を前年度比10.0%減の3,314万3千円とした。

### 3 予算（支出）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的支出）

○ 営業費用

① 管渠費は、管渠等の維持管理に要する経費で、主に修繕費、工事請負費、委託料、負担金等で前年度比1.5%増の6億3,044万8千円とした。

【主な支出】

- ・維持管理、監視業務、地震対策及び雨天時浸入水対策等業務委託 1億1,177万9千円
- ・ポンプ、その他修繕等 2,827万円
- ・管渠補修工事、浚渫工事等 1,312万円
- ・荒川右岸流域下水道維持管理負担金等 4億4,576万8千円

② 業務費は、使用料徴収業務等に要する経費で、前年度比25.7%減の6,161万4千円とした。

【主な支出】

- ・下水道使用料徴収事務委託等 5,335万8千円

③ 総係費は、下水道事業の総括的な経費で、前年度比7.0%減の3,155万7千円とした。

【主な支出】

- ・システム保守等業務委託等 89万2千円
- ・下水道協会負担金等 196万1千円
- ・貸倒引当金繰入額 181万3千円

④ 減価償却費は、構築物などの減価償却費として、8億4,897万8千円とした。

⑤ 資産減耗費は、更新工事に伴う固定資産除却費として、2,350万円とした。

- 営業外費用
  - ① 支払利息は、前年度比13.4%減の8,262万4千円とした。
  - ② 雑支出は、30万円とした。
- 特別損失
  - ① 過年度損益修正損は、55万円とした。

## (2) 4条予算（資本的支出）

- 建設改良費
  - ① 建設総係費は、建設改良に伴う事務費等の経費で、前年度比1.3%増の8,538万1千円とした。
  - ② 公共下水道建設事業費は、前年度比71.7%増の6億2,481万2千円とした。

### 【主な支出】

委託料 5億2,220万円

- ・別所雨水ポンプ場更新工事委託  
(令和4～5年度継続費・発電機、令和5年度分・消防設備等)
- ・柳瀬川雨水ポンプ場検討業務委託
- ・管渠修繕等実施設計業務委託

工事請負費 9,220万円

- ・管渠更生等工事
- ・新河岸第12-2-1污水管渠築造工事
- ・人孔蓋取替工事
- ・私道対策事業

- ③ 特定環境保全公共下水道建設事業費は、前年度比82.4%増の3億2,476万6千円とした。

### 【主な支出】

工事請負費 3億120万円

- ・新河岸第14污水管渠築造工事
- ・新河岸第16污水管渠築造工事
- ・新河岸第12-2-2污水管渠築造工事
- ・舗装本復旧工事
- ・舗装本復旧工事

- ④ 流域下水道事業費は、前年度比29.8%減の9,559万4千円とした。

### 【主な支出】

負担金 9,559万4千円

- ・荒川右岸流域下水道事業建設負担金

## ○ 償還金

企業債償還金は、前年度比4.0%減の5億6,899万6千円とした。

- ・公共下水道償還金 3億7,142万2千円
- ・流域下水道償還金 7,117万8千円
- ・特定環境保全公共下水道償還金 1億2,639万6千円

企業債の令和5年度末未償還残高は、76億886万8千円となる見込みである。

■ 令和5年度富士見市下水道事業会計予算

収益的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業収益			1,827,360	5,023
営業収益			1,343,466	△ 23,954
下水道使用料			1,022,844	△ 41,914
他会計負担金			320,487	18,210
その他の営業収益			135	△ 250
営業外収益			483,893	28,977
受 取 利 息			62	0
他会計補助金			97,000	△ 369
長期前受金戻入			361,505	7,816
雑 収 益			1,796	0
補 助 金			0	△ 2,000
消費税還付金			23,530	23,530
特別利益			1	0
過年度損益修正益			1	0

支出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業費用			1,680,336	△ 25,589
営業費用			1,596,362	5,171
管 渠 費			630,448	9,317
業 務 費			61,614	△ 21,276
総 係 費			31,557	△ 2,358
水洗化促進費			265	0
減価償却費			848,978	15,353
資産減耗費			23,500	4,135
営業外費用			82,924	△ 30,760
支 払 利 息			82,624	△ 12,760
雑 支 出			300	0
消費税及び 地方消費税			0	△ 18,000
特別損失			550	0
過年度損益修正損			550	0
予 備 費			500	0
予 備 費			500	0

■ 令和5年度富士見市下水道事業会計予算

資本的収入及び支出

収入 (単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
資	本	的 収 入	1,031,993	365,337
	企	業 債	881,600	313,500
		企 業 債	881,600	313,500
	国庫(県)補助金		117,250	55,500
		国庫(県)補助金	117,250	55,500
	負 担 金		33,143	△ 3,663
		負 担 金	33,143	△ 3,663

支出 (単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
資	本	的 支 出	1,702,249	346,064
	建 設 改 良 費		1,132,253	369,841
		建 設 総 係 費	85,381	1,059
		公 共 下 水 道 道 費	624,812	260,900
		建 設 事 業 費		
		特 定 環 境 保 全 公 共 費	324,766	146,672
		下 水 道 建 設 事 業 費		
		流 域 下 水 道 事 業 費	95,594	△ 40,490
		固 定 資 産 購 入 費	1,700	1,700
	償 還 金		568,996	△ 23,777
		企 業 債 償 還 金	568,996	△ 23,777
	予 備 費		1,000	0
		予 備 費	1,000	0